

# 第56回 全国トラックドライバー・コンテスト

## 学科競技

# 問題用紙

(競技時間：60分間)

部門 4トン・11トン・トレーラ・女性

氏名

### 注意事項

- ① 解答用紙に書かれている受験番号、氏名を確認すること。  
受験番号は「『部門コード』 - 『ゼッケン番号(2桁(例：青森県=02))』」となる。

部門	部門コード
4トン部門	B
11トン部門	C
トレーラ部門	T
女性部門	W

例) トレーラ部門の青森県代表の選手の場合、受験番号は「T - 02」となる。

- ② 解答はすべて別紙の解答用紙(マークシート方式)に記入すること。
- ③ 解答用紙(マークシート方式)は、鉛筆を使用して必要な箇所にマークすること。なお、誤ってマークした場合は、跡の残らないように消しゴムでしっかりと消すこと。
- ④ この問題用紙は、試験開始の合図があるまで開かないこと。
- ⑤ 問題用紙を一通り見て、印刷の不鮮明なところがあれば挙手をして係員に申し出ること。
- ⑥ 問題用紙に、メモ、計算等を書き込んでも差し支えない。問題用紙は選手がそのまま持ち帰ること。
- ⑦ 試験開始45分経過後より退室してよいが、解答用紙は机上に伏せて、他の選手の妨げにならないよう静かに退室すること。一度退室したら再度入室は認めない。
- ⑧ 時間については、試験終了10分前と5分前に終了の予告をする。
- ⑨ 落とした筆記用具の拾得等、試験時間中に何らかの問題が生じた場合は、挙手をして係員に申し出ること。

# I 法規 (40 問)

## 【4 肢択一式問題】

問 1. 合図に関するア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 進路変更をするときは、その行為をしようとする時の 3 秒前に合図を出す。
- イ 左折時の合図は、左腕を車体の左側の外に出して水平に伸ばし、若しくは右腕を車体の右側の外に出して肘を垂直に上に曲げること、又は左側の方向指示器を操作すること。
- ウ 徐行し、または停止するときの合図は、腕を車体の外に出して斜め上に伸ばすこと、又は車両の保安基準に関する規定若しくはトロリーバスの保安基準に関する規定により設けられる制動灯をつけること。
- エ 右左折などの合図が必要な行為をしないにもかかわらず合図をしてはならない。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 2. 積載に関するア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 貨物自動車に積載する貨物は、自動車の車体の前後から自動車の長さの 10 分の 1 の長さを超えてはみ出さないこと。
- イ 貨物自動車に積載する貨物の幅は、自動車の幅の 1.2 倍までである。
- ウ 貨物自動車に積載する貨物の高さは、3.8 メートルからその自動車の積載をする場所の高さを減じたもの。
- エ 貨物自動車に積載する貨物は、自動車の車体の左右から自動車の幅の 10 分の 1 の幅を超えてはみ出さないこと。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問3. 歩行者の保護等に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 乗客の乗降のため停車中の路面電車に追いついたとき、当該路面電車に乗降する者がいない場合で当該路面電車の左側に当該路面電車から1メートル以上の間隔を保つことができるときは、徐行して当該路面電車の左側を通過することができる。
- イ 歩行者のそばを通行するときは、安全な間隔をあけるか、又は徐行しなければならない。
- ウ 信号機のない横断歩道の直前で停止している車があるときは、その側方を通過して前方に出るときは徐行しなければならない。
- エ 安全地帯の側方の通過時において、安全地帯に歩行者がいないときは徐行する必要がない。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問4. 踏切に関する次の1～4の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 信号機のない踏切を通過しようとするときは、踏切の直前で停止し、かつ、安全であることを確認した後でなければ進行してはならない。
- 2 踏切の前方の交通が混雑しているため、踏切内で停止するおそれがあるときは、踏切に進入してはならない。
- 3 踏切の警報機が鳴り始めたら、遮断機が降り始める前であっても踏切に進入してはならない。
- 4 進路の前方の車両等の状況により、踏切に入った場合にその部分で停止することとなるおそれがあるときは、徐行して踏切に進入する。

【○×正誤式問題】

次の問5から問40までの設問について正しいと思うものについては、解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては、解答用紙の×の欄にマークを付けなさい。

問5. 左右の見とおしがきかない交差点に入ろうとするときは、優先道路を通行している場合でも徐行しなければならない。

問6. この標識のある道路は、高さが3.3メートルを超える車は通行できない。



問7. 警察官又は法に規定する交通巡視員は、道路における危険を防止し、その他交通の安全と円滑を図るため特に必要があると認めるときは、信号機の表示する信号にかかわらず、これと異なる意味を表示する手信号その他の信号をすることができる。

問8. 貨物の積卸しのため停車するときは、できる限り道路の左側端に沿い、かつ、他の交通の妨害とならないようにしなければならない。

問9. 交差点又はその直近で横断歩道の設けられていない場所で歩行者が道路を横断しているときは、徐行又は一時停止して、歩行者の通行を妨げないようにしなければならない。

問10. 車両総重量が2,000キログラム以下の車両を、その車両の車両総重量の3倍以上の車両総重量の自動車でけん引する場合の最高速度は、50キロメートル毎時である。

問11. 路線バスが発進するため進路を変更しようとして合図をした場合は、その後方にある車両は、速やかに路線バスを追い越していく。

- 問 12. 大型自動車、中型自動車、準中型自動車における積載物重量制限超過が 10 割以上である場合は、反則金ではなく、懲役または罰金が科せられる。
- 問 13. 運転者は、当該車両等のハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作し、かつ、道路、交通及び当該車両等の状況に応じ、他人に危害を及ぼさないような速度と方法で運転しなければならない。
- 問 14. 道路外に出るため左折するときは、あらかじめその前からできる限り道路の左側端に寄り、かつ、徐行する。
- 問 15. 有効期限の過ぎた運転免許証で運転した場合は、免許条件違反となる。
- 問 16. 車両の通行が禁止されている歩行者用道路を通行しようとする場合は、道路管理者の許可を得なければならない。
- 問 17. 道路外の施設又は場所に入出するため歩道を横断するとき、明らかに歩行者が通行していない場合は、徐行して歩道を通過することができる。
- 問 18. 車両は、車両通行帯の設けられた道路においては、道路の左側端から数えて一番目の車両通行帯を通行しなければならない（道路の左側部分に三つ以上の車両通行帯が設けられているときを除く）。
- 問 19. 免許を受けた者が自動車等を運転することが著しく道路における交通の危険を生じさせるおそれがあるときは、免許の効力を停止することができる。
- 問 20. 環状交差点において左折し、又は右折するときは、あらかじめその前からできる限り道路の左側端に寄り、かつ、できる限り環状交差点の側端に沿って（道路標識等により通行すべき部分が指定されているときを除く）徐行する。
- 問 21. 交差点又はその附近以外の場所において、緊急自動車が接近してきたときは、道路の左側に寄って一時停止し、進路を譲らなければならない。
- 問 22. 道路交通法でいう「車両」とは、自動車、トロリーバス、原動機付自転車をいい、軽車両は含まれない。

- 問 23. 交通事故の報告を受けた最寄りの警察署の警察官は、負傷者を救護し、又は道路における危険を防止するため必要があると認めるときは、当該報告をした運転者に対し、警察官が現場に到着するまで現場を去ってはならない旨を命ずることができる。
- 問 24. 道路の左側部分の幅員が6メートルに満たない道路において、道路の右側部分を見とおすことができ、かつ、反対の方向からの交通を妨げるおそれがなく、追越しのため右側部分がはみ出し禁止でない場合は、道路の右側部分にはみ出して追越しをすることができる。
- 問 25. 積載重量等の制限外許可証の交付を受けた車両の運転者は、当該許可に係る車両の運転中、当該許可証を携帯していなければならない。
- 問 26. 路側帯に入って停車や駐車をするとき、車両の左側に0.5メートルの余地をとらなければならない。
- 問 27. 高速自動車国道の本線車道に入ろうとする場合、加速車線が設けられているときは、その加速車線を通行しなければならない。
- 問 28. 進路を変えて、停止している車両の側方を通過し、当該停止車両の前方に出る行為は、追越しには該当しない。
- 問 29. 同一の進路を進行している他の車両等の直後を進行するときは、その直前の車両等が急に停止したときでも追突を避けることができる必要な距離を保たなければならない。
- 問 30. 身体に保有するアルコールの程度は、血液1ミリリットルにつき0.3ミリグラム未満又は呼気1リットルにつき0.15ミリグラム未満の場合は、運転して差し支えない。
- 問 31. 児童、幼児等の乗降のため停車している通学通園バスの側方を通過するときは、一時停止して安全を確認する。
- 問 32. 車両通行帯が黄色の線で区画されている場合でも、緊急自動車に進路を譲る場合は、この線を越えて進路を変更することができる。

問 33. この標識は、「Y 形道路交差点あり」を示している。



問 34. 自動車専用道路では、駐車は禁止されているが、停車は禁止されていない。

問 35. 自動車を後退させるときでも座席ベルトを着用しなければならない。

問 36. この標識のある道路は、歩行者も含めてすべての交通が通行できない。



問 37. 標識等により速度が指定されていない自動車専用道路における最高速度は、自動車の種別にかかわらず 60 キロメートル毎時である。

問 38. 横断歩道手前の側端から前に 50 メートル以内の部分には追越禁止である。

問 39. 夜間に、故障その他の理由により高速自動車国道の本線車道等において運転することができなくなったときは、内閣府令で定める基準に適合する夜間用停止表示器材を後方から進行してくる自動車の運転者が見やすい位置に置かなければならない。

問 40. 軌道敷内は、左折や右折をするためであっても通行できない。

## Ⅱ 構造機能 (20 問)

### 【4 肢択一式問題】

問 41. 番号灯に関する次のア～エのうち、誤っているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 自動車の後面には、番号灯を備えることができる。
- イ 番号灯は、夜間後方 30 メートルの距離から自動車登録番号標、臨時運行許可番号標、回送運行許可番号標又は車両番号標の数字等の表示を確認できるものであること。
- ウ 番号灯は、点滅しないものであること。
- エ 番号灯の直射光又は反射光は、当該番号灯を備える自動車及び他の自動車の運転操作を妨げるものでないこと。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 42. 運行記録計に関する次の 1～4 の記述のうち、誤っているものを 1 つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 貨物の運送の用に供する普通自動車で、車両総重量が 8 トン以上又は最大積載量が 5 トン以上のものには、道路運送車両の保安基準により運行記録計を備えなければならない。
- 2 運行記録計は、すべての 2 時刻間における瞬間速度を記録するものでなければならない。
- 3 運行記録計は、すべての 2 時刻間における走行距離を記録するものでなければならない。
- 4 運行記録計の瞬間速度の記録は、平坦な舗装路面での走行時において、自動車の速度を下回らず、かつ、著しい誤差のないものであること。



問 43. 事業用貨物自動車の点検・整備に関する次のア～エのうち、誤っているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 自動車運送事業の用に供する自動車は、3 か月ごとに、国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。
- イ 自動車運送事業の用に供する自動車は、一日一回、その運行の開始前において日常点検を実施しなければならないが、灯火装置及び方向指示器については、走行距離や運行時の状態等から判断した適切な時期に実施すればよい。
- ウ 日常点検基準及び定期点検基準は、道路運送車両の保安基準において定められている。
- エ 点検整備記録簿は、営業所に備え置かなければならない。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 44. 次のア～エの灯火類のうち、備えることが義務づけられているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 駐車灯
- イ 前部上側端灯
- ウ 尾灯
- エ 前部霧灯

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

## 【○×正誤式問題】

次の問 45 から問 60 までの設問について正しいと思うものについては、解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては、解答用紙の×の欄にマークを付けなさい。

- 問 45. 貨物の運送の用に供する自動車であつて車両総重量 8 トンを超えるものには、消火器を備えなければならない。
- 問 46. 自動車の前面ガラスに備える窓ふき器にあつては、前面ガラスの直前の視野を確保できる自動式の窓ふき器であること。
- 問 47. 方向指示器は、他の灯火の点灯状態にかかわらず点灯操作及び消灯操作が行えるものであること（告示で定めるものを除く）。
- 問 48. 走行用前照灯は、そのすべてを照射したときには、夜間にその前方 80 メートル（告示で定めるものを除く）の距離にある交通上の障害物を確認できる性能を有するものであること。
- 問 49. 自動車登録番号標を自動車に取付けるときは、国土交通省令で定める位置に、かつ、被覆しないことその他自動車登録番号の識別に支障が生じないものとして国土交通省令で定める方法により表示しなければ、運行の用に供してはならない。
- 問 50. 警音器の警報音発生装置の音は、自動的に断続するものでなければならない。
- 問 51. 自動車（タンク自動車を除く）の車体の後面には、最大積載量並びに車両総重量を表示しなければならない。
- 問 52. 後退灯は、昼間にその後方 50 メートルの距離から点灯を確認できるものであり、かつ、その照射光線は、他の交通を妨げないものであること。
- 問 53. 側方照射灯は、すれ違い用前照灯又は走行用前照灯が点灯している場合にのみ点灯する構造であること。
- 問 54. 車両総重量が 7.5 トン以上又は最大積載量が 4.5 トン以上の貨物の運送の用に供する普通自動車の原動機においては、速度抑制装置を備えなければならない。

- 問 55. 日常点検の結果は運行管理者に報告し、運行管理者はその結果に基づいて運行の可否を決定する。
- 問 56. 自動車の最小回転半径は、最外側のわだちについて 12 メートル以下でなければならない。
- 問 57. 隣り合う車軸にかかる荷重の和は、その軸距が 1.8 メートル以上である場合にあっては 20 トンを超えてはならない。
- 問 58. 自動車の長さ、幅、高さの測定は、空車状態で行う。
- 問 59. 長さ 6 メートルを超える普通自動車の両側面には、側方灯又は側方反射器を備えなければならない。
- 問 60. 自動車の軸重は、牽引自動車のうち告示で定めるものを除いて、8 トンを超えてはならない。

### Ⅲ 運転常識 (20 問)

#### 【4 肢択一式問題】

問 61. 次のア～エの貨物自動車のうち、荷を積み卸す作業を行うときに、労働者に保護帽を着用させる義務の対象となる貨物自動車はいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 最大積載量が5トン以上のもの。
- イ 最大積載量が2トン以上5トン未満の貨物自動車であって、荷台の側面が構造上開放されているもの。
- ウ 最大積載量が2トン以上5トン未満の貨物自動車であって、荷台の側面が構造上開閉できるもの。
- エ 最大積載量が2トン以上5トン未満の貨物自動車であって、テールゲートリフターが設置されているもの。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 62. 速度と運転に関する次の1～4の記述のうち、誤っているものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1 長い時間高速で走ったり、夜間高速で走ったりしていると速度感が鈍り、速度が低下しがちになる。
- 2 決められた速度の範囲内であっても、道路や交通の状況、天候や視界などを考えて、安全な速度で走行する。
- 3 高速になると視力が低下し、特に近くのものが見えにくくなる。
- 4 制動距離は速度の2乗に比例して長くなるので、速度が2倍になると制動距離は4倍になる。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 63. 車を運転中に地震の警戒宣言が発せられ、車を置いて避難するときの措置として、次のア～エの記述のうち、適切なものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア できるだけ車を道路外の場所に移動しておくこと。
- イ やむを得ず道路上に置いて避難するときは、道路の左側に寄せて駐車し、エンジンを止め、エンジンキーは付けたままとするか運転席などの車内の分かりやすい場所に置いておくこと。
- ウ 窓を開け、ドアはロックしないこと。
- エ 駐車するときは、避難する人の通行や地震防災応急対策の実施の妨げとなるような場所には駐車しないこと。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問 64. 坂道の走行に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 片側が転落のおそれのあるがけになっている道路で、安全な行き違いができないときは、がけ側の車は一時停止をして道を譲る。
- イ 近くに待避所のない坂道ですれ違いが難しいときは、上りの車が下りの車に道を譲る。
- ウ 下り坂では加速がつき停止距離が長くなるので、車間距離を広くとる。
- エ 下り坂では低速のギアを用い、エンジンブレーキを活用する。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

## 【○×正誤式問題】

次の問 65 から問 80 までの設問について正しいと思うものについては、解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては、解答用紙の×の欄にマークを付けなさい。

- 問 65. 乗務員は事業用自動車に貨物を積載するときは、貨物が運搬中に荷崩れ等により事業用自動車から落下することを防止するため、貨物にロープ又はシートを掛けること等必要な措置を講ずること。
- 問 66. 重い荷物を積んでいる場合は制動距離が短くなる。
- 問 67. 改善基準告示でいう「拘束時間」とは、労働時間、休憩時間その他の使用者に拘束されている時間をいう。
- 問 68. 事業者は、労働者に対し、健康診断を行わなければならないが、健康診断を受けるかどうかは労働者の自由である。
- 問 69. 運転者は、事業用自動車の運行中に当該事業用自動車の重大な故障を発見し、又は重大な事故が発生するおそれがあると認めたときは、直ちに、運行を中止し、貨物自動車運送事業者に報告すること。
- 問 70. 霧のときは、霧灯装備されているときは霧灯を、霧灯がないときは非常点滅表示灯を早めにつける。
- 問 71. 進路の前方に障害物があるときは、あらかじめ一時停止か減速をして、反対方向からの車に道を譲る。
- 問 72. 運転時間は、2 日（始業時刻から起算して 48 時間をいう。）を平均し 1 日当たり 9 時間、2 週間を平均し 1 週間当たり 45 時間を超えないものとする。
- 問 73. 対向車と正面衝突のおそれが生じたときは、警音器とブレーキを同時に使い、できる限り左側によける。衝突の寸前まであきらめないで、少しでもブレーキとハンドルでかわすようにする。
- 問 74. 業務途中の点呼では、アルコール検知器による酒気帯びの有無の確認は省略できる。

- 問 75. 追越しなどのため自転車のそばを通るときは、自転車のふらつきなどを予想し、自転車との間に安全な間隔を空けるか、徐行する。
- 問 76. 後輪が横滑りを始めたときは、直ちに強いブレーキをかけて車を停止させる。
- 問 77. 坂道で車から離れるときは、車が暴走しないよう輪止めをすること。
- 問 78. カーブを曲がるときは、ハンドルを切りながらブレーキを掛けたりアクセルを踏んで速度を調節するのがよい。
- 問 79. 自動車から降りるためにドアを開けるときは、まず少し開けて一度止め、安全を確かめてから降りるのがよい。
- 問 80. 高速でトンネルに入ると、視力が急激に低下するので、あらかじめ手前で速度を落とす。

# 第56回 全国トラックドライバー・コンテスト 学科競技解答

(公社)全日本トラック協会

## I. 法規

問	選択肢			
	1	2	3	4
1			3	
2				4
3		2		
4				4

問	○	×
5		×
6	○	
7	○	
8	○	
9		×
10		×
11		×
12	○	
13	○	
14	○	
15		×
16		×
17		×
18	○	
19	○	
20	○	

問	○	×
21		×
22		×
23	○	
24	○	
25	○	
26		×
27	○	
28	○	
29	○	
30		×
31		×
32	○	
33		×
34		×
35		×
36		×

問	○	×
37	○	
38		×
39	○	
40		×

## II. 構造機能

問	選択肢			
	1	2	3	4
41		2		
42		2		
43			3	
44	1			

問	○	×
45		×
46	○	
47	○	
48		×
49	○	
50		×
51		×
52		×
53	○	
54		×
55		×
56	○	
57	○	
58	○	
59	○	
60		×

## III. 運転常識

問	選択肢			
	1	2	3	4
61				4
62	1			
63			3	
64			3	

問	○	×
65	○	
66		×
67	○	
68		×
69	○	
70		×
71	○	
72		×
73	○	
74		×
75	○	
76		×
77	○	
78		×
79	○	
80	○	